

【技術の名称】 溶接閉鎖形せん断補強筋 TOYO リング工法 -TOYO リング-	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 14-09 号 性能証明発効日：2014 年 5 月 30 日
	【取得者】 東陽総建グループ (代表会社：株式会社東陽総建)

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造、プレキャストコンクリート造及び、鉄骨鉄筋コンクリート造のせん断補強筋に用いる溶接閉鎖形せん断補強筋である。JIS G 3112 の規格に適合する異形棒鋼を折り曲げ加工により円形、四角形または多角形にし、その先端部をフラッシュバット溶接によって接合する技術である。

【技術開発の趣旨】

溶接閉鎖形せん断補強筋はフック形式よりも高い横拘束効果が期待でき、配筋工事の施工性改善、省力化、並びに工期短縮を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「溶接閉鎖形せん断補強筋 TOYO リング工法 標準製造要領書」に従って製造された TOYO リングの溶接継手は、「2007 年版建築物の構造関係技術基準解説書」の解説に示された平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1463 号に基づく「溶接継手性能判定基準」による A 級継手と同等の性能を有する。

表 1 「TOYO リング」の適用範囲

せん断補強筋	鋼種	SD295A SD345
	呼び名	D10 D13 D16

表 2 溶接部の機械的性質

鋼種	降伏強度 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	曲げ性	
				角度	内側直径
SD295A	295 以上	440~600	16	90	D1.5 倍
SD345	345~440	490 以上	18		

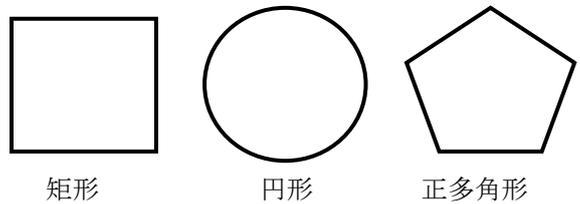


図 1 TOYO リング形状

表 3 一辺の加工最大・最小寸法、最短溶接寸法

矩形、正多角形 (mm)			
呼び名	最大辺長	最小辺長	溶接点までの最短寸法
D10	2,000	230	115
D13	2,000	240	120
D16	2,000	300	150

表 4 溶接辺の最大・最小寸法、最短溶接寸法

円形 (mm)			
呼び名	最大直径	最小直径	溶接点までの直線寸法
D10	2,000	550	90
D13	2,000	600	95
D16	2,000	690	100



写真 1 溶接継手

【本技術の問合せ先】

株式会社東陽総建 担当者： 佐藤
 〒811-3122 福岡県古賀市薦野 1450-5

E-mail : toyosoken@yahoo.co.jp
 TEL : 092-946-2828 FAX : 092-946-2820